

安全衛生上の注意事項

下記の注意を守ってご使用下さい。

危険

- ・引火性液体および蒸気
- ・飲み込むと有害のおそれ
- ・皮膚に接触すると有害
- ・吸入すると有害のおそれ(蒸気)
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・皮膚刺激
- ・重篤な眼への刺激

- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器(全身毒性、呼吸器、中枢神経系、腎臓、肝臓、肺、血液系)の障害
- ・長期又は反復暴露による臓器(呼吸器、神経系)の障害
- ・長期又は反復暴露による臓器(血液系、精巣、肝臓)の障害のおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期的影響により水生生物に毒性

【予防策】

- ・容器を密閉しておくこと。
- ・蒸気が滞留すると爆発及び有機溶剤中毒になるおそれがあるので、取扱い場所には局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行うこと。
- ・熱/火花/裸火/高温体などの着火源から遠ざけること。一禁煙。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用すること。
- ・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱時には飲食や喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
- ・取扱後は手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行い、作業衣に付着した汚れをよく落とすこと。
- ・(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避けること。
- ・スプレーダストや製品が付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火するおそれがあるので廃棄するまで水に漬けておくこと。

【対応】

- ・火災の場合：粉末消火器、耐アルコール性泡消火剤又は二酸化炭素を用いて消火すること。
- ・目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・皮膚に付着した場合：皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受けること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分の悪い時は、医師の手当てを受けること。
- ・漏出した場合：漏出物を回収すること。

【保管】

- ・涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物や容器を、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄業者に廃棄を委託する。

消防法：第4類 引火性液体第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ 火気厳禁
有機溶剤中毒予防規則：第2種有機溶剤(等)

取扱いまたは使用に際し、安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

® オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場 〒547-0001 大阪市平野区加美北4丁目5番38号
TEL (06)6791-4031番(代表)
FAX (06)6791-4034番

福岡営業所 〒814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29-8
TEL (092)831-2281

東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラー1番館102
TEL (048)940-3927

ホームページ：<http://www.oriental-toryo.jp>

※このカタログの内容については、予告なく変更する事がありますのであらかじめご了承ください。

取扱店



オリトボウセイ

弱溶剤一液型変性エポキシ樹脂系サビ止め塗料



上塗り塗料に水性塗料が加わりました！

塗り替え対象基材

◎トタン板・亜鉛処理鋼板

鉄・アルミ板・ステンレス

注意：塗り替え対象基材以外に
使用しないで下さい。

「オリトボウセイ」は、塗料用シンナーで希釈することができ、速乾性で防錆力にすぐれた一液型エポキシ系の塗料です。当日のうちに上塗り塗装が可能で、耐久性・付着性にすぐれています。また、鉛・クロム系の原料を含まない環境に配慮した塗料です。

屋根塗り替え塗料のパイオニア
® オリエンタル塗料工業株式会社

※このカタログの内容については、予告なく変更する事がありますのであらかじめご了承ください。

特長

- ① **一液タイプで速乾性**
一液タイプなので可使用時間を気にする必要なく非常に扱いやすい塗料です。その日のうちに弊社商品の弱溶剤系塗料を上塗り塗装できます。
- ② **作業性・仕上がり良好**
ハケ・ローラー・エアレスでの作業性が良く、吸い込みも少ないので綺麗に仕上がります。
- ③ **密着性にすぐれています**
変性エポキシ樹脂採用により各種金属素材や各種旧塗膜への密着性にすぐれています。(※再塗装は2種ケレンが必要)
- ④ **塗料用シンナーで希釈可能**
塗料用シンナー希釈なので強溶剤系に比べるとにおいもマイルドです。(※塗装器具の洗浄はラッカーシンナーを使用してください。)
- ⑤ **環境にやさしい**
鉛・クロム系を配合していないので、環境に配慮したやさしい塗料です。

用途

- 新・旧敷設のトタン板・亜鉛処理鋼板・アルミ板・ステンレス等の下塗り。
※ガルバリウム鋼板・どぶ漬け亜鉛メッキ鋼板には使用できません。
※被塗物表面の処理によって密着しない場合が有りますので試し塗りでご確認ください。
- 旧塗膜が有る被塗物の下塗り。

標準塗装仕様

I. 新設のトタン板・亜鉛処理鋼板・アルミ板・ステンレス等の塗装

塗装工程	材料	塗装方法	希釈率(%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔	
1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 鉄部の場合、黒皮や赤さびを電動工具・手工具を使用して(※1)2種ケレン程度で除去し、ちり、ほこり、水分、油脂分は完全に除去し、 白さびが有る場合はサンドペーパー・ワイヤーブラシ等、その他手工具を使用して(※1)2種ケレン程度で除去し、ちり、ほこり、水分、油脂分は完全に除去し、 非鉄金属の場合は、ちり、ほこり、水分、油脂分を完全に除去し、 				
2	下塗り	オリーブセイ	ハケ・ローラー エアレス	5~10 10~15	0.12~0.14	4時間以上 7日以内
3	上塗り 1回目	右ページ、 上塗りに使用できる施工 から選択し、 各々のカタログに沿って施工してください。				
4	上塗り 2回目	右ページ、 上塗りに使用できる施工 から選択し、 各々のカタログに沿って施工してください。				

II. 旧塗膜が有るトタン板・亜鉛処理鋼板・アルミ板・ステンレス等の塗装

塗装工程	材料	塗装方法	希釈率(%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔	
1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜でハガレかけや脆弱な部分、さび部分は電動工具・手工具等を使用して(※1)2種ケレン程度で除去し、ちり、ほこり、水分、油脂分を完全に除去し、 チョーキングした面は、サンドペーパー等で除去し、ちり、ほこり、水分、油脂分を完全に除去し、 				
2	下塗り	オリーブセイ	ハケ・ローラー エアレス	5~10 10~15	0.12~0.14	4時間以上 7日以内
3	上塗り 1回目	右ページ、 上塗りに使用できる施工 から選択し、 各々のカタログに沿って施工してください。				
4	上塗り 2回目	右ページ、 上塗りに使用できる施工 から選択し、 各々のカタログに沿って施工してください。				

(※1)2種ケレン=日本道路協会 素地調整程度、もしくは、S I S S t 3程度

使用方法

塗装方法	ハケ・ローラー	エアレス
希釈剤	ORマイルドシンナー	
希釈率	5~10%	10~15%
標準塗布量	0.12~0.14kg/m ² ・回	
標準塗布面積	100~116m ² /14kg・回	

容量・色

色名	容量
ホワイト色 (N-93 近似)※2	14kg・4kg
グレー色 (N-75 近似)	14kg・4kg

※2：ホワイト色は高反射性能も持合わせています

性能

オリーブセイの性能		
乾燥性 (20℃)	指触乾燥	10分
	硬化乾燥	60分
	塗り重ね時間	4時間以上7日以内
金属素地 付着性能 ※1	鉄(黒皮鋼板を含む)	○
	トタン	○
	亜鉛処理鋼板	○
	ステンレス(SUS304等)	○
防錆性 (耐塩水噴霧 300時間後)	アルミニウム	○
	さび幅	1mm
	ふくれ	異常なし
	セロテープ剥離幅	1mm

※1：素材の種類によっては、十分に付着しない場合があります。

上塗りに使用できる塗料

- 弱溶剤二液型シリコン塗料
 - ・コロベスト
 - ・ニューマイルド優雅
 - ・クールくん マイルド優雅(遮熱)
 - ・マイティーシリコン
 - ・クールくん マイティーシリコン(遮熱)
 - ・トウキマイルド
 - ・クールくん トウキマイルド(遮熱)
- 水性塗料
 - ・シリコン屋根トップ(一液)
 - ・ダイレクトコート(二液)
 - ・水性 涼風(二液型遮熱タイプ)

各上塗り塗料の塗装仕様は、各々のカタログにそって施工して下さい。



使用上の注意点

- ・使用前に塗料を十分攪拌し、全体を均一にしてください。
- ・気温が低く湿度が高い場合は完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合や天候不良が予測される場合は塗装を避けてください。
- ・素地の油脂分、水分、ほこりなどはよく清掃してから塗装してください。
- ・飛散防止のため、塗装しないところは養生してください。
- ・乾燥過程で、霜、夜露等の影響を受ける恐れがある時間帯の塗装は避けてください。
- ・塗装前に必ず高圧洗浄、ブラシ等により水洗浄を行い、塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、砂、枯れ葉などの汚れや、剥がれかかった塗膜は確実に取り除いてください。
- ・先に塗りにくい所を塗ってから、また高い所から下の方に塗り場を確保しながら塗装してください。作業時の安全に十分注意し、高所で作業をする場合は安全ロープをかけてください。
- ・素地が直射日光などで極端に熱くなっているときは塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- ・改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。予め適切な処理を行い、試し塗りを実施後仕様を決めてください。
- ・塗装作業中及び塗膜を乾燥させる際には十分換気を行い、火気厳禁を守ってください。
- ・各工程の塗装間隔や塗装回数、塗布量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となる事があります。また各工程において、当社既定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られない場合があります。
- ・標準塗装仕様中の標準塗布量については塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- ・溶接接合部や下塗りにキズがある場合はその部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ・塗り重ね時間は屋根部など温度が高くなると工程間隔が短くなり、上塗り塗料との付着性が低下して層間剥離を起こすことがありますので注意してください。このような場合、4時間乾燥させた後、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシ等で表面を目荒らした後、脱脂した上で上塗り塗装をしてください。
- ・上塗り塗装時はオリーブセイの塗装面を何度もしごきますと、再溶解やにじみを発生し、仕上がりに悪影響を及ぼす場合がありますので注意してください。
- ・可塑性を含む塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなどへの直接の塗装は避けてください。またこれらの素材に塗料が付かないように注意してください。
- ・サビ止め塗装後、塗り重ね時間を守ってください。硬化が不十分ですと塗料用シンナーで再溶解する場合があります。
- ・旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどへの油性系の場合はサンドペーパーなどで研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は塗膜剥離などを起こす場合があります。
- ・上塗り塗装は必ず2回塗り以上で仕上げてください。
- ・ハケなど塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・このカタログに記載している上塗り塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカタログを参照ください。